



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

家庭や地域に応援され育っていく子どもたち

校長 海江田 なぎさ

旧年中も、保護者・地域の皆様には、さまざまな形で本校の学校教育活動に御理解・御協力をいただき、ありがとうございました。

昨年末、子どもたちが家庭、地域の方々に応援していただいていることを改めて感じた出来事がありました。

ボランティア生徒による大久保神社社叢のクリーン活動

学校運営協議会で「ふるさとを愛し、志高く生きる 心優しい大久保の子ども」を育てることを目指し、昨年度から始まった活動です。今年度は、昨年度の2倍以上の64人の生徒と保護者の方々が、地域の方々といっしょに活動に取り組みました。今回の実施にあたり、急遽、学校のほうきを増やしたのですが、その運搬のためトラックを出していただくなど、保護者、地域の方々には、多くの御協力いただきました。ありがとうございました。

前回の学校運営協議会で、委員長の戸張様が昨年度の活動を振り返り、「中学生が地域の大人たちに元気を与えてくれています。」と言ってくださいました。当日参加した生徒たちは、改めて地域にお世話になっていることに気づくとともに、地域の方々から温かい言葉をいただき、「自分たちには、地域を元気にする力がある。」と、自信を持つことができたのではないかと思います。

3年生が技術科で栽培した大根

近くにお住いの地域の方が「どう育てたらこんなに立派に育つのか教えてもらいたいくらいです。」と言ってくださいるほどに育った3年生の大根。技術科の栽培は、第1,2学年時に行うことが一般的ですが、本校では第3学年で行います。技術科教員によると、それには、次のような願いがあるそうです。

- 大根は、16mgの種が1.5kgにまで成長する。2学期、受験を控え自分と向き合う大事な時期に、日々成長する大根とともに、生徒自身も一日一日を大切に育てほしい。
- 収穫した大根を家に持ち帰り、おうちの方々から「すごいね」と声をかけてもらい、夕食で「おいしいね」と言ってもらう経験は、子どもに力を与えられる。「がんばればできる」という成就感も味わいながら、大変な時期を乗り越えてほしい。

振り返りでは、多くの生徒がおうちの方に大根を見せたときのやり取りについて書いていました。自分で料理した生徒も家族に作ってもらった生徒も、そのおいしさは格別だったようです。祖父母の方とのやり取りについて書いているものも複数ありました。お声掛けや料理など御協力いただき、ありがとうございました。

3学期は、年度のまとめの学期であると同時に、「次の学年（3年生は次のステージへの0学期）」とも言える大切な学期です。今学期も、保護者・地域の皆様の御理解・御協力を賜りながら、充実した教育活動を目指してまいります。今年も、どうぞよろしく願いいたします。

生徒の振り返りから

- ・うちの人が「ほんとにあなた育てたの？」とびっくりしていた。
- ・持って帰って、家族に持たせると、最初の一言が「重！」でした。僕はこの一言がうれしかったです。
- ・家族がおいしそうに食べてくれて、とてもうれしかったし、あまり野菜を食べてくれない弟が自分の大根を食べてくれて喜びを感じました。
- ・おじいちゃんが毎年大根を育てているけれど、これからは、収穫以外も手伝ってみようかなと思いました。
- ・約3か月間、ちゃんと世話をできてよかったと思いました。小さいことを続けてやっていけばいつかは大きくなるということを感じました。
- ・あっという間に収穫まで来てしまいました。親がよく言う「子どもの成長は早いねえー」の気持ちがちょっとだけ分かった気がします。